

公開シンポジウム

2011年1月7日

「健康・生活価値」の探求—健康・生活科学
委員会からの学術・教育への緊急提言

看護学分野から

日本学術会議連携会員

慶應義塾大学看護医療学部教授

太田 喜久子

◇看護学分野から

1. 高齢者と健康生活のとらえ方
2. 健康生活とケア
3. 次世代への教育—看護学分科会の活動
 - 1)いのちの教育
 - 2)高度実践看護師の育成

1. 高齢者と健康生活の とらえ方

高齢者の健康課題

- いくつもの病気をもっている
- さまざまな薬を飲んでいる
- 嗜好や生活習慣が多様である
- 家や住んでいる地域など生活環境に影響される

<どの疾患によっても、加齢と共に生活機能が低下する.>

生活機能の低下

- 加齢による低下ではなく、
病気、障害、
誤った生活習慣による。
- 予備能の低下からはじまる。
(通常の活動では正常に機能、
通常以上の活動で機能障害が表面化。)

高齢者

それぞれの長い生活史をもち、
潜在的な力を発揮しながら生活している。
しかし、徐々に機能衰退のプロセスをたどり、
本人が意識するしないに関わらず
生と死、つまり生命に向き合った状態で
生活している。

健康とは、快さや苦痛がかなり少ない
身体的精神的状態で、
偶然かその個人の選択でそこにいる環境で、
(可能な限り効率よく、また)

長い間機能できることを、その当の人に
許すようなものである。

(ルネ・デュポス)

生活の定義

生活とは、まず生命を守りながら、
日々の暮らしを重ね、
人生における目標に向かっていくもので
ある。

このことから生活は、人間の生きていく大切な基盤であり、同時にプロセスそのものでもある。

生活の重層構造 青井和夫を参考

健康生活モデル

構成要素

<核になるもの>

<生きている>

<暮らしている>

<より豊かに生きる>

＜核になるもの＞

人としての固有さを形成し、行動に影響を与えるもの。価値観、生活信条

＜生きている＞

身体的状態。疾病の有無

日常の生命活動、生活行動に関わるもの

＜暮らしている＞

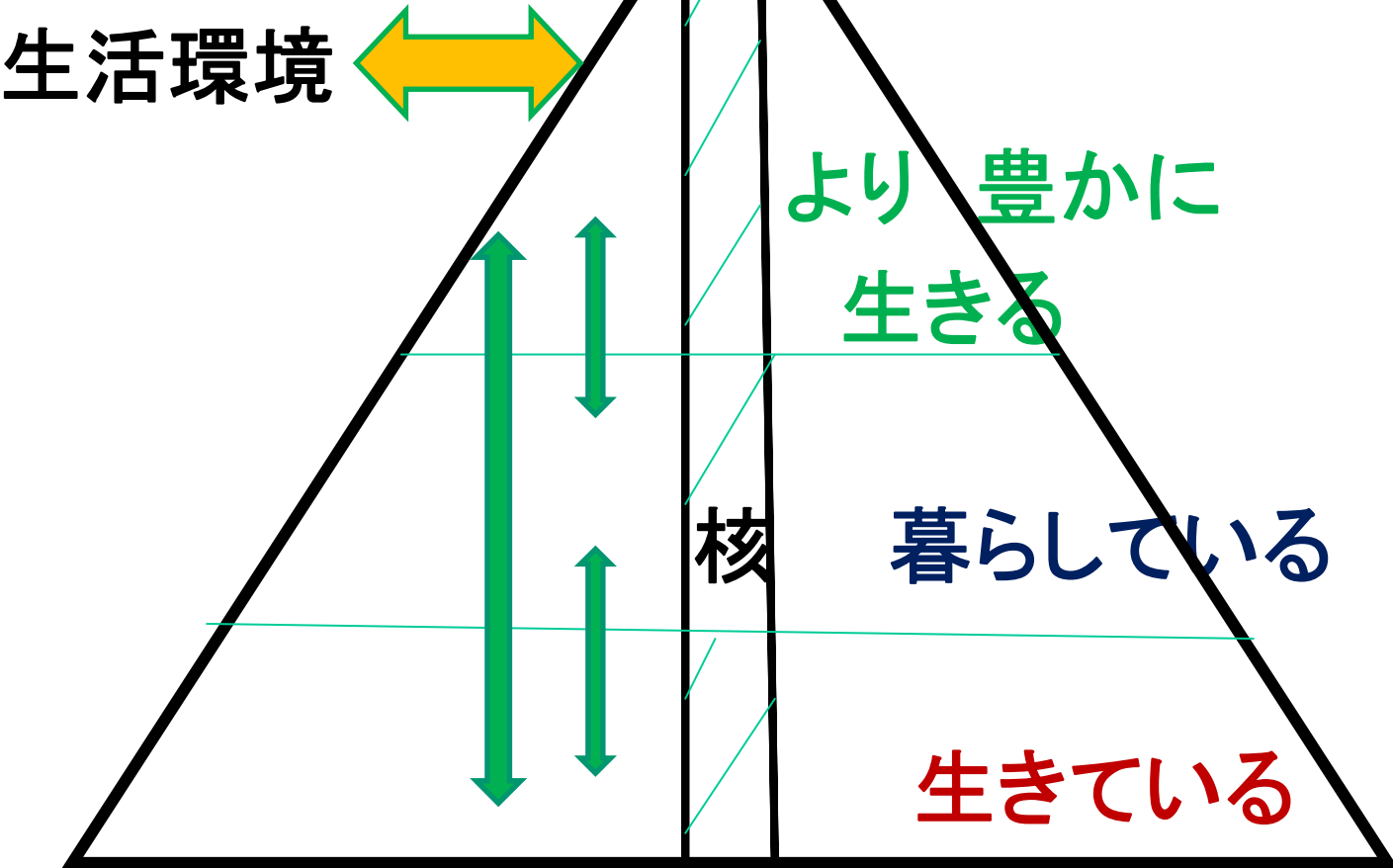
社会や人とのつながりに関わるもの。

役割、関係性。経済状態

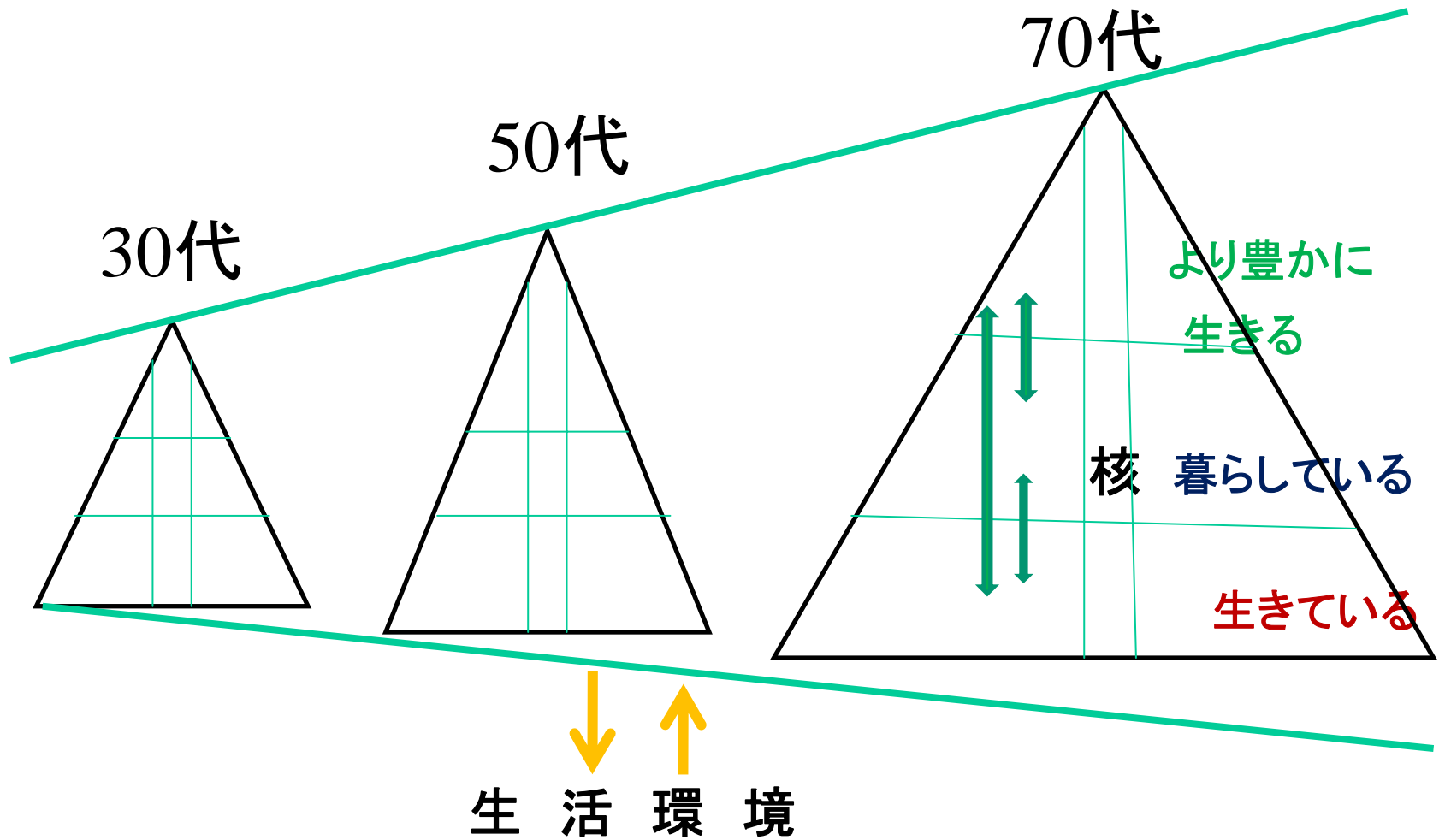
＜より豊かに生きている＞

自分らしさの発揮につながるもの。趣味

健康生活の全体像

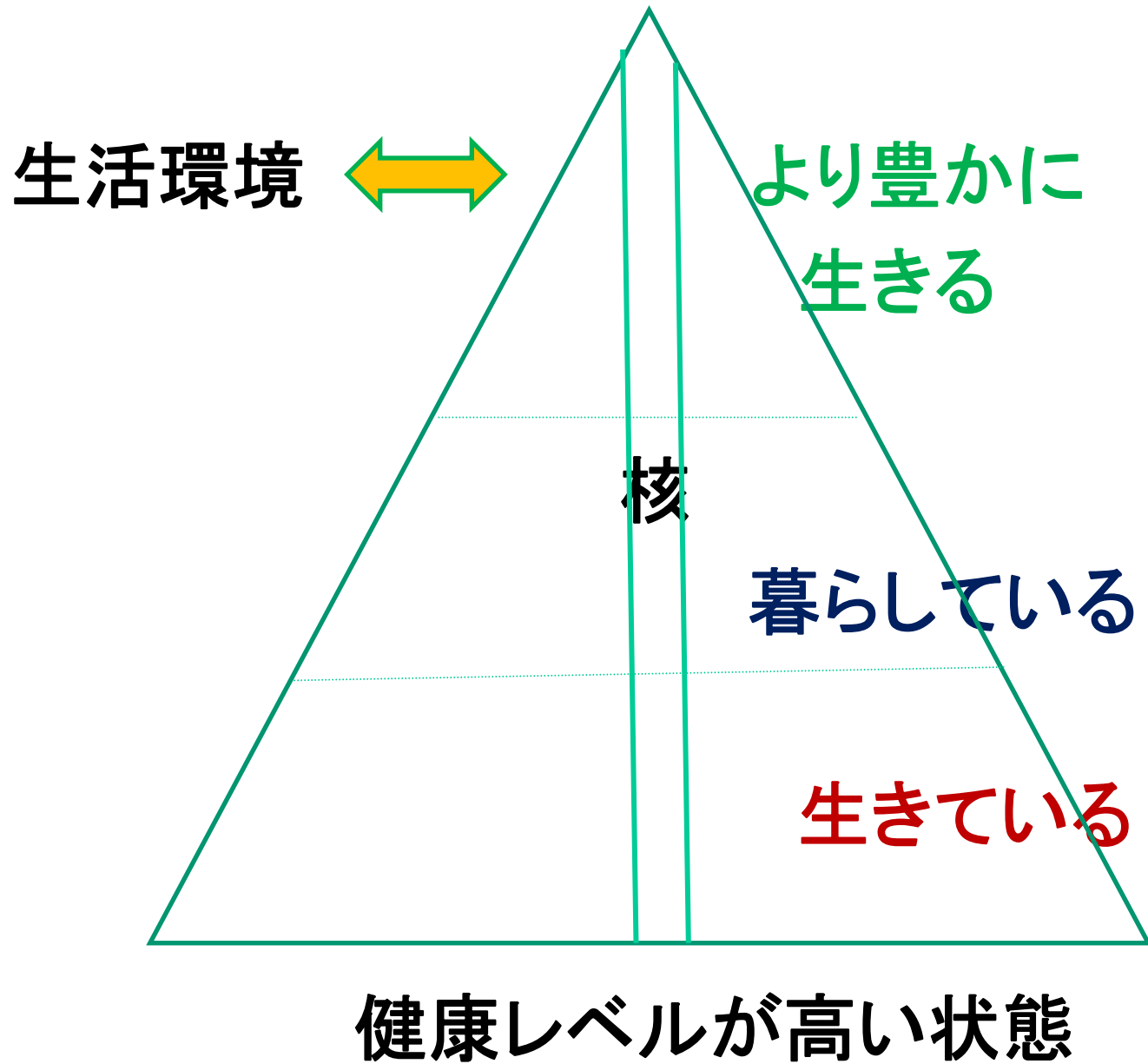


高齢者の健康生活モデル



生活に関わるもの

- 生活環境： 生活を取り囲み、影響を与えるもの。 物理的、人的
- 時間： 現在の生活をもたらしたこれまでの連続した時間経過、生活史



生活環境



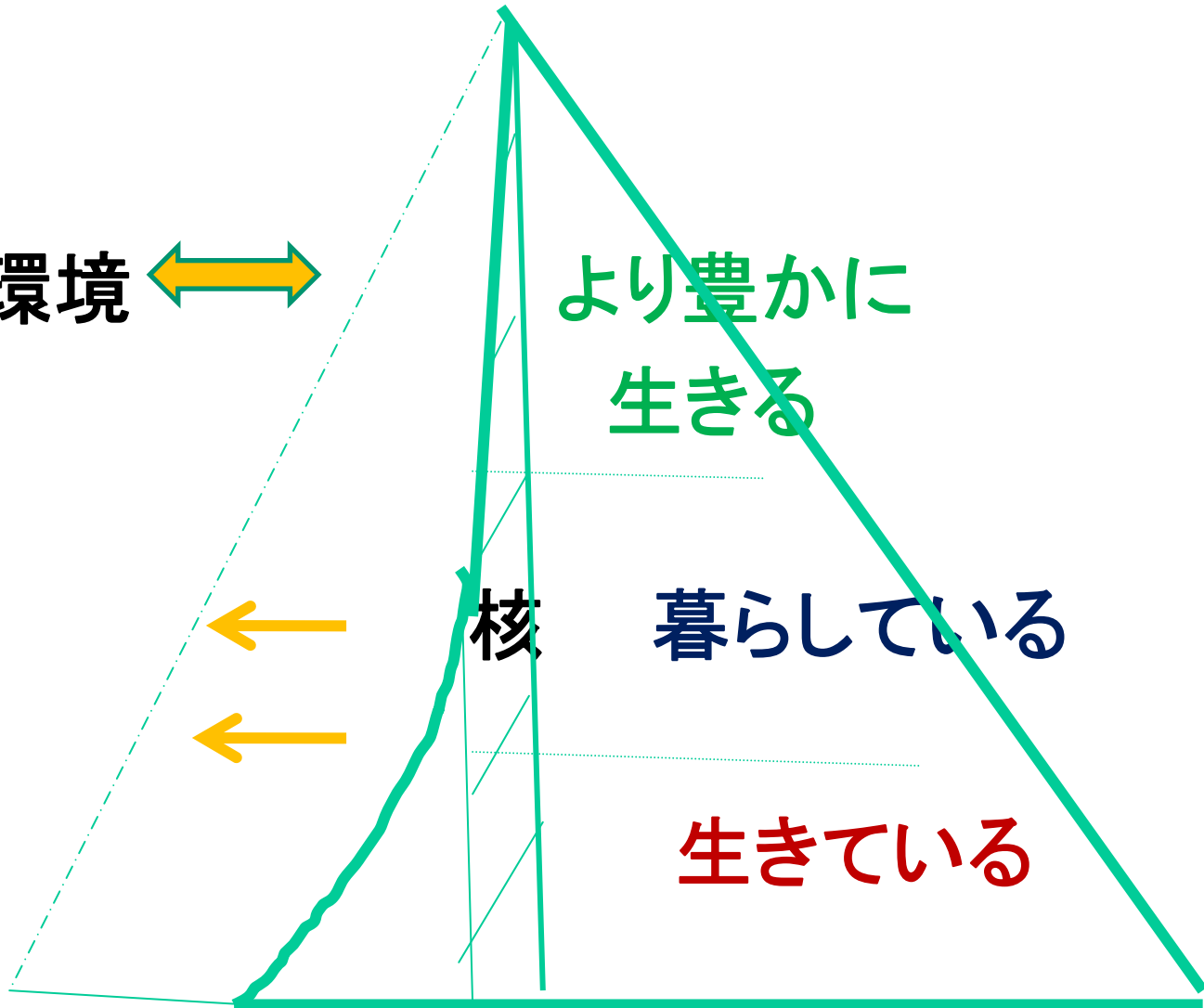
より豊かに
生きる

核

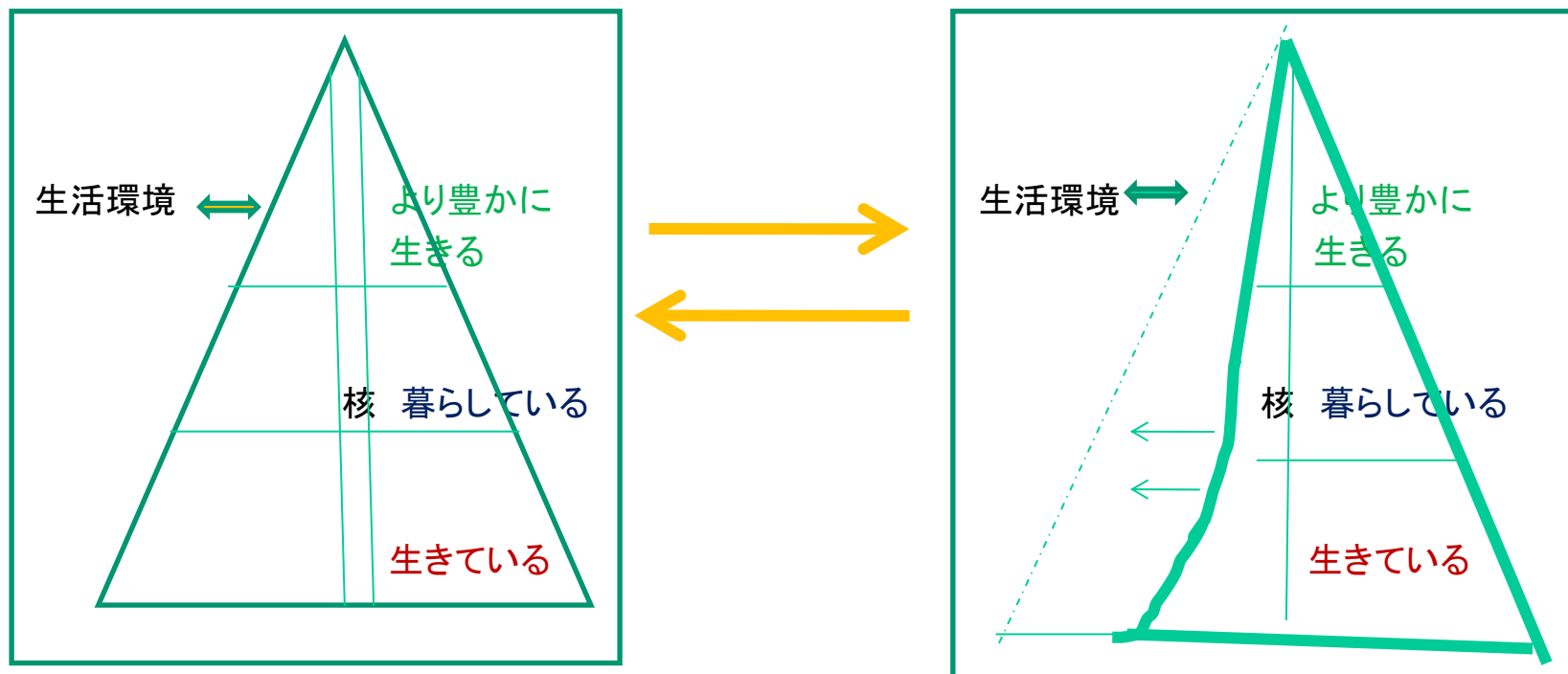
暮らしている

生きている

健康レベルが低い状態



健康レベルによる変化



健康一連続体

よりよい健康

↓ ↑

普通の状態

↓ ↑

病気

↓

死

高齢者の健康生活モデル

○要素間の関係

○捉え方

- 健康生活の全体性
- 健康生活の個別性
- 健康生活の継続性

老年看護とは、

高齢者のその時々々の健康状態に応じた生活を全体的に把握し、
自立と依存のバランスをとることができるように、高齢者の潜在能力、すなわち身体的機能、意思の力、価値観などを引き出し、
その方の生活の質を維持できるように働きかけるものである。

2. 健康生活とケア

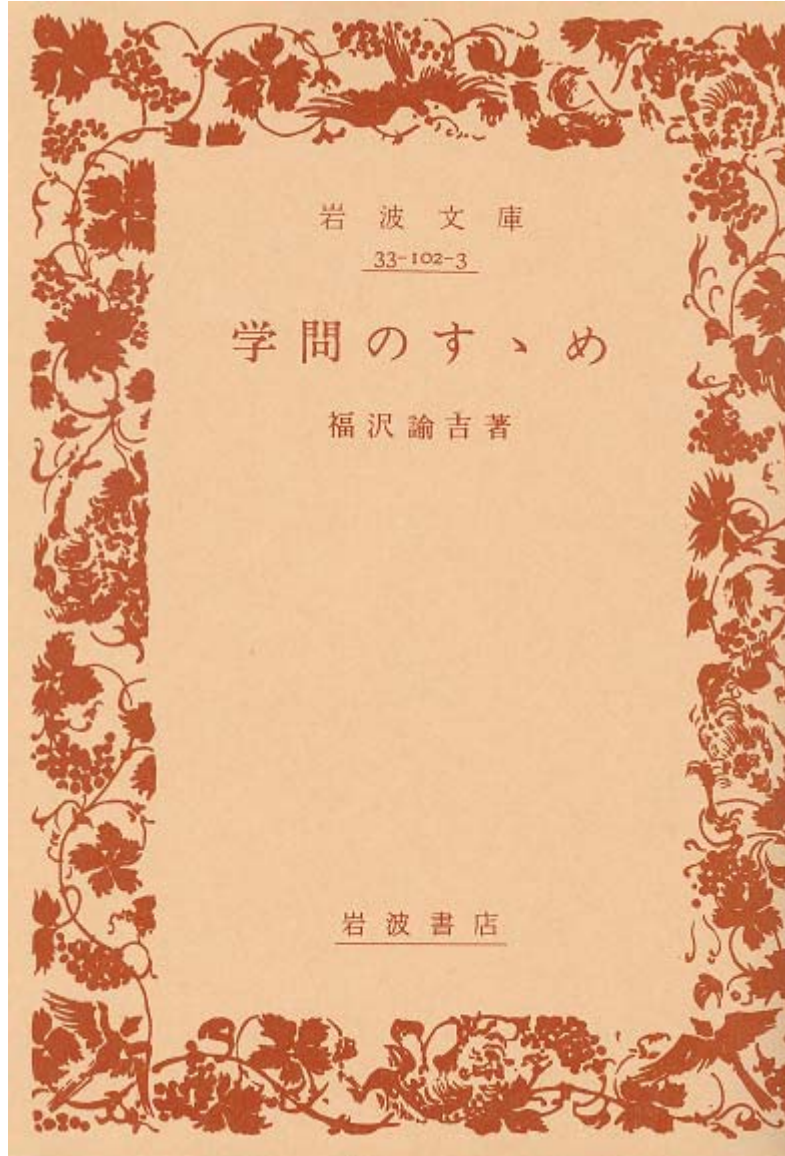
ケアとは

1. 気がかり、心配
2. 苦勞の種、煩わしい務め
3. 注意、用心、骨折り
4. 特に力を入れる事柄、関心、配慮
5. 世話、監督、保護
6. 悲しみ

新英和辞典

世話の字の義

- ・世話の字に二の意味あり、一は**保護**の義なり、一は**命令**の義なり。**保護**とは人の事に付き傍より番をして防ぎ護り、或いは之に財物を与え或いは之がために時を費し、其人をして利益をも面目をも失はしめざる様に世話をすることなり。**命令**とは人のために考て、其人の身に便利ならんと思ふことを指図して不便利ならんと思ふことには意見を加え、心の丈をつくして忠告することにて、是又世話の義なり。(明治8年3月)



ケアの要素

- 時間、プロセス
- 何ものかに向けられる
- 過程の中での成長、充足感

近代科学における「サイエンス」と「ケア」の分裂

サイエンス(近代科学)



ケア

(a) 対象との切断や
自然支配・統御

対象との共感・
一体性や自然親和性

(b) 経済的・実証的な
合理性(帰納性)

対象の個別性や
主観性の重視

ケアの科学

(他の自然科学)

自然科学的

医療モデル[疾病]

予防/環境モデル

「個」への関心
何からかの
「治療」

I

II

「環境」全体への関心
「治療」より
「支援」

III

IV

心理モデル

生活モデル[障害]

人間科学的

(経済社会)

健康・生活価値への学術的探求

- 当事者性—当事者にとっての意味や体験の重視
 - 客観と主観—両者への意味づけ
 - 研究方法論—量的研究と同時に、
質的研究の重要性
- *「ケア」を臨床的、政策的、哲学的な視点から学際的に解明していけないか。

3. 次世代への教育— 看護学分科会の活動

1) いのちの教育—初等中等教育のあり方

2) 高度実践看護師の育成—大学院教育の
あり方

看護学分科会
初等・中等教育における「いのちの教育」に関わる
看護からの提言

「変革期における看護師の役割」

筑波大学大学院人間総合科学研究科
日本看護学教育学会理事
日本学術会議連携会員
川口 孝泰

背景

生まれたら死ぬ……「生と死」が非日常になっている

日本文化におけるジェンダー……女性の役割が大きい

男性の看護師が少ない……初等中等教育における男子生徒の役割

医療人の死生観や倫理観の欠如

少子化と超高齢化で看護師が不足

医療人は「生と死」に一番近い存在

大学教育を受けた専門職看護師(professional nurse)の登場

これからの看護師に求められる役割と使命は……

中長期的な観点に立って「いのちの教育」のあり方を問いかけ、これからの医療人の育成と、その専門性を位置づける意味においても、学校教育、家庭教育、さらには、それらを育む地域社会の在り方について、具体的なビジョンを提案し、かつ活動することが求められる。

2002年度(旧)と2011年から改訂される(新) 学習指導要領のテキスト分析

分析項目

旧: 398,829語、新: 487,826語

1. 希少性(「限りあるもの」「親からもらったもの」「大切なもの」等)
いのち、**生命**、人命、寿命、誕生、出産、生まれる、成長、
限りあるもの、大事なもの、親からもらったもの、**健康**
2. 関係性(「結婚」「性(sex)」「生き方(生活)」等)
生きる、生、生きていく、生き方、**生活**、生涯、一生、性、
高齢者、家族、友人、援助、手伝い、家族、ケア、愛、愛する
愛情、愛護、愛着、敬愛、**人間**、**人間関係**、信頼、結婚
尊重、尊厳、尊さ、尊敬、畏敬、感謝、思いやり、親しみ、
3. 必然性(「葬式」「がん」「死」等)
病気、病人、がん、**障害**、障害者、老化、自殺、葬式、事故
4. その他
哲学、**宗教**、**道徳**、倫理、道徳、思惟、思索

学習指導要領の新旧比較結果

1. 希少性(「限りあるもの」「親からもらったもの」「大切なもの」等)

旧
398,829語

キーワード	個数
いのち	0
生命	54
人命	3
寿命	1

キーワード	個数
誕生	5
出産	2
生まれる	2
成長	55
発達	145
発育	4

キーワード	個数
限りあるもの	0
大切なもの	0
親からもらったもの	0

キーワード	個数
健康	197
健全	19
平和	36
安全	200

1. 希少性(「限りあるもの」「親からもらったもの」「大切なもの」等)

新
487,826語
(1.22倍増加)

キーワード	個数
いのち	0
生命	78
人命	2
寿命	0

キーワード	個数
誕生	7
出産	1
生まれる	2
成長	64
発達	186
発育	9

キーワード	個数
限りあるもの	0
大切なもの	0
親からもらったもの	0

キーワード	個数
健康	240
健全	10
平和	41
安全	304

旧

2. 関係性(「結婚」「性(sex)」「生き方(生活)」等)

キーワード	個数
生きる	40
生	1
生き方	47
生きていく	2
生活	920
生涯	34
一生	11

キーワード	個数
性	1
性的	1
性衝動	1
性感染症	1
高齢者	77
家族	85
友人	1
援助	42
手伝い	1
世話	1
ケア	3
(但し全てケアプラン)	

キーワード	個数
愛	56
愛する	5
愛情	10
愛護	3
愛着	3
敬愛	9
人間	158
人間関係	21
信頼	17
(信頼感3、信頼関係7)	
人と人との関わり	0
結婚	0

キーワード	個数
尊重	72
(人間の尊重3、人間尊重4)	
尊厳	5
尊さ	9
尊敬	2
(高齢者、先人、郷土への尊敬)	
畏敬	6
感謝	7
思いやり(る)	6
親しみ	38
大切	56
喜び	31
悲しみ	1
共感	4
同感	0

新

2. 関係性(「結婚」「性(sex)」「生き方(生活)」等)

キーワード	個数
生きる	48
生	0
生き方	50
生きていく	3
生活	1104
生涯	87
一生	10

キーワード	個数
性	0
性的	1
性衝動	1
性感染症	0
高齢者	79
家族	98
友人	3
援助	38
手伝い	1
世話	1
ケア	6
(但し全てケアプラン)	

キーワード	個数
愛	42
愛する	8
愛情	9
愛護	3
愛着	4
敬愛	10
人間	222
人間関係	41
信頼	20
(信頼感3、信頼関係10)	
人と人との関わり	0
結婚	1

キーワード	個数
尊重	112
(人間の尊重4、人間尊重5)	
尊厳	17
尊さ	9
尊敬	2
(高齢者、先人、郷土への尊敬)	
畏敬	8
感謝	9
思いやり(る)	5
親しみ	32
大切	75
喜び	49
悲しみ	0
共感	2
同感	0

旧

3. 必然性(「葬式」「がん」「死」等)

キーワード	個数
病気	22
病人	1
(但し、病人食)	
がん(患者)	5

キーワード	個数
障害	41
障害者	18
ハンディキャップ	0

キーワード	個数
老化	0

キーワード	個数
死	2
(植物の死 1)	
自殺	0
自死	0
葬式	0
事故	37
事件	0

4. その他

哲学	1
宗教	10
倫理	23
道德(徳)	102

思索	3
思惟	0

3. 必然性(「葬式」「がん」「死」等)

キーワード	個数
病気	13
病人	0
(但し、病人食)	
がん(患者)	0

キーワード	個数
障害	73
障害者	23
ハンディキャップ	0

キーワード	個数
老化	2

キーワード	個数
死	1
(植物の死 1)	
自殺	0
自死	0
葬式	0
事故	49
事件	0

4. その他

哲学	1
宗教	40
倫理	37
道德(徳)	225

思索	4
思惟	0

新

山形県の教育委員会による「いのちの教育」指針(平成17年3月)

次世代に生きる人の育成

「いのちの教育」では、山形の人・自然・社会の中で、
「いのち輝く人間」を育てることをめざします

「いのち輝く人間」の姿

- 自分のいのちを大切にし、いのちいっぱい生きる
- 他のいのちにも思いをはせ、大切にす
- 人や社会の役に立ちたいと一生懸命努力する
- 自然に学び、その恵みに感謝する
- 次の世代を思い、知恵を伝え、育てる



次の世代の育成

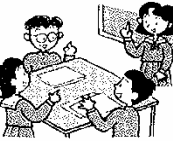
子どもを産み育てる、これまでの体験を通して得た知恵を次の世代に伝え、支え、励ます



次世代へ…

社会における役割の 自覚・生きがい・感謝

自分らしさを生かして、人の役に立つ喜びを知る、支えられていることに感謝する

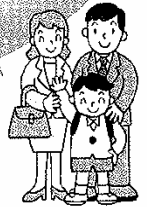


協働体験・ 自己有用感

目的に向かって、お互いに支え合い、生かし合う中で、自他のよさを実感する

高等学校

社会へ…



多様性の認識
ちがっていて当たり前、ちがいがあからこそ支え合う意味がある

中学校

小学校

善悪の判断、基本的生活習慣、耐性
してはいけないこと、しなければならないことがある

自然体験・実感
自然の素晴らしさ、怖さ、育てる喜びを感じる

安心感・信頼感
自分は愛されている大切にされている

乳幼児期

「いのちの教育」の三つの柱

- ① 自分を大切に思える気持ち(自尊感情)を育てる
- ② 「いのち」のつながりと多様性に気づかせる
- ③ 「いのちの尊さ」と人間としての「生き方」をしっかりと教える

人間関係、自然・社会体験の広がり

自尊感情の高まり

死ぬ

(ジェンダー)

地域社会

平成17年度

病院で.....79.7%
在宅で.....12.2%

昭和27年

病院で..... 9.7%
在宅で.....81.3%

平成15年

病院で.....96.8%
在宅+助産院で... 1.0%

昭和25年

病院で..... 4.0%
在宅+助産院で...95.4%

生きて

学校

家庭文化 (カリキュラム)
(期待・役割)

生まれ

来るべき少子・高齢社会において いのちの教育における看護の役割

＜次代に生きる人間を育てる＞

＜現在持っている能力の有効活用・社会還元＞

教科目としての看護学の必要性

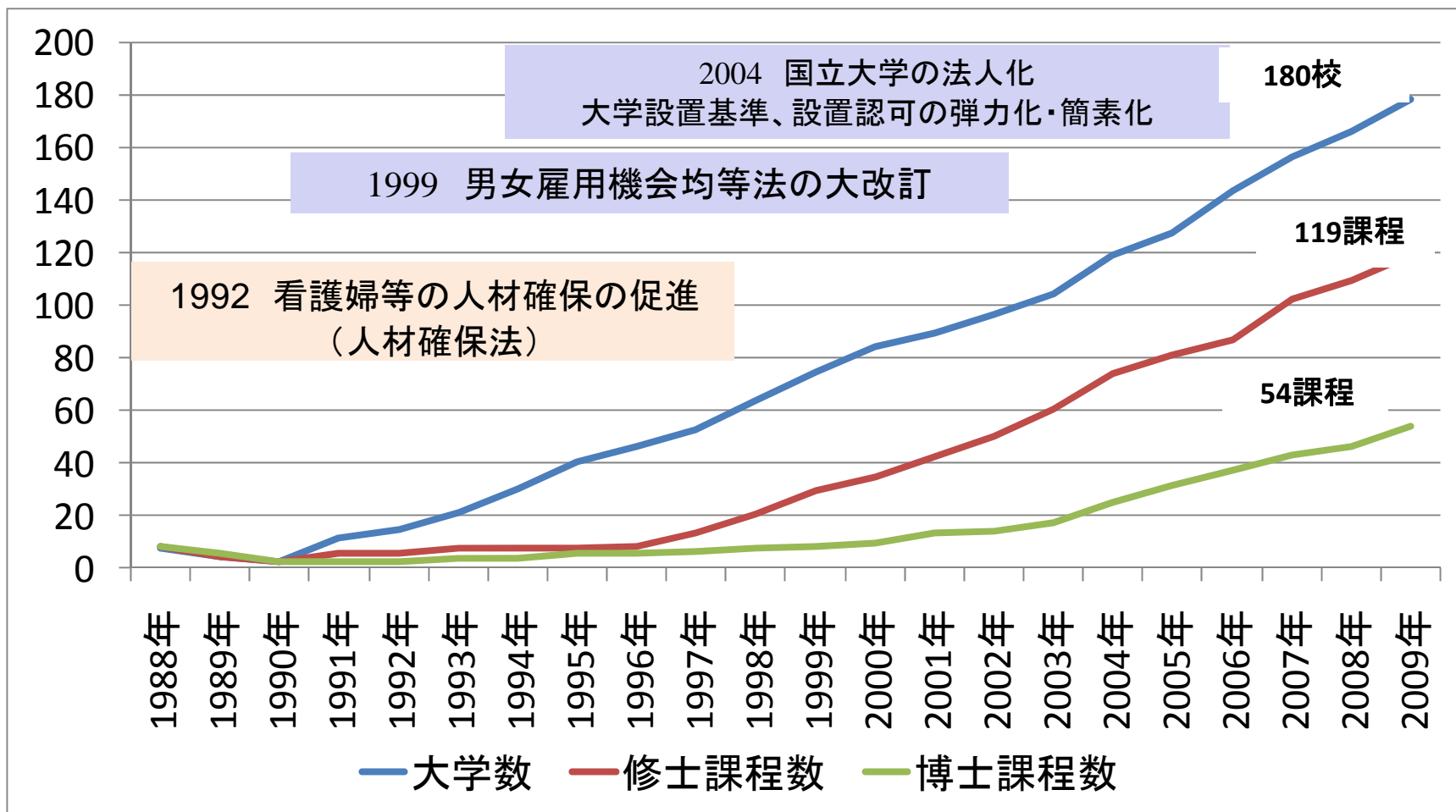
いのちの教育のあり方と看護について提示

3. 次世代への教育— 看護学分科会の活動

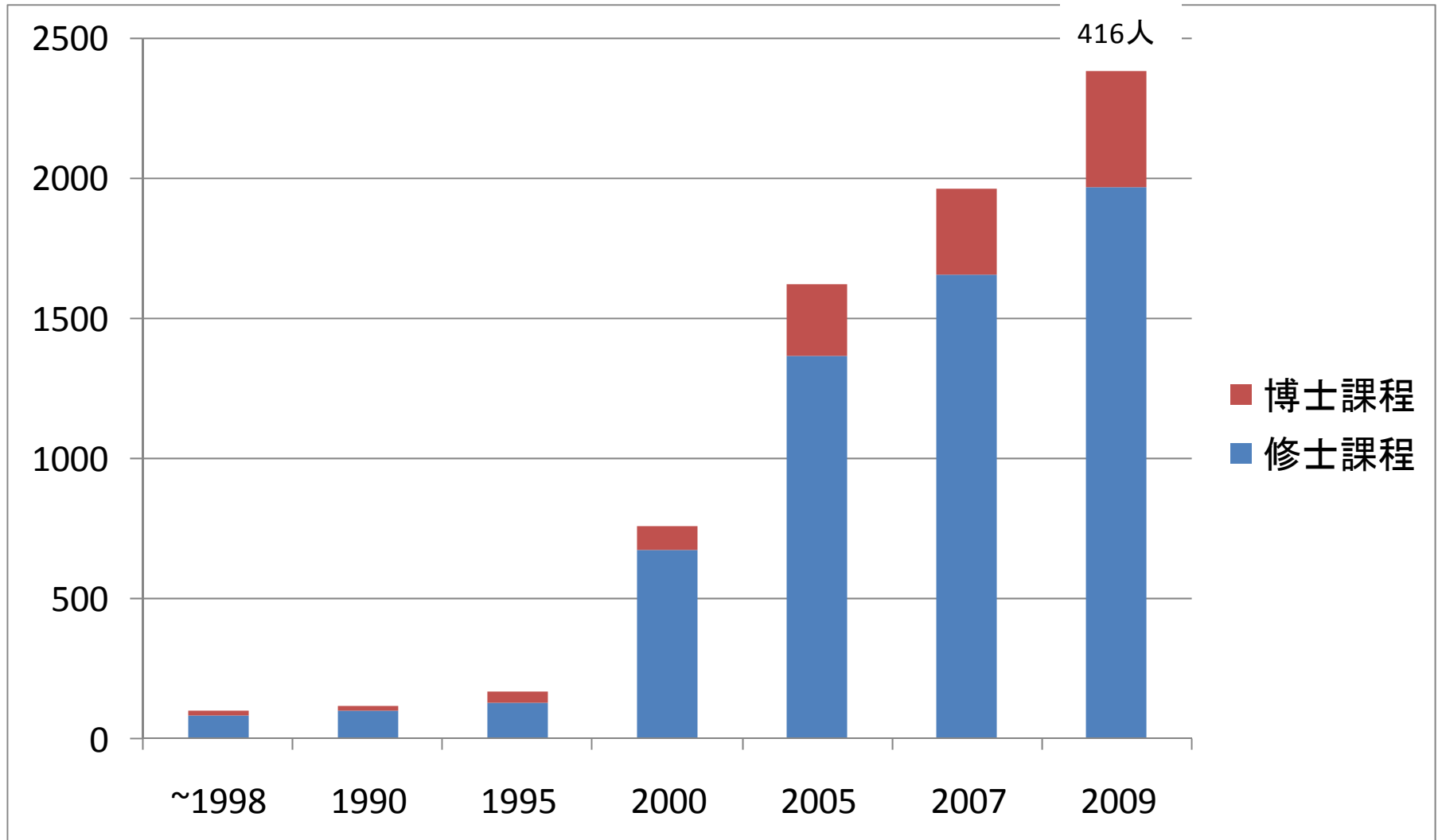
1) いのちの教育—初等中等教育のあり方

2) 高度実践看護師の育成—大学院教育の
あり方

看護系大学・大学院の増加と関連する法改正



看護系大学院生数の推移



専門看護師 (Certified Nurse Specialist)とは

複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するために、特定の専門看護分野の知識及び技術に関して大学院教育を受けた看護師

現在特定されている専門看護分野と認定数

複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識及び技術を深め、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかります。



- ■がん看護 193人
- ■精神看護 68人
- ■地域看護 14人
- ■老人看護 24人
- ■小児看護 40人
- ■母性看護 27人
- ■成人看護 34人
- ■クリティカル看護 42人
- ■感染 4人
- ■家族ケア 5人
- 合計451人
- 平成22年9月17日現在

日本の看護界は看護の高度化 専門化を推し進めてきました

- ・ 1989年 大学協議会で専門看護師制度の検討開始
- ・ 1990年 日本看護協会がCNS制度試案発表
- ・ 1993年 「看護教育」誌上に検討案発表
- ・ 1995年 大学協議会教育課程基準案発表
- ・ 1996年 大学院教育課程認定開始
- ・ **2005年4月 高度実践看護師制度検討委員会発足**
- ・ 2006年3月 「高度実践看護師の基本的能力」
- ・ **2009年5月 高度実践看護師(APN)育成38単位**
- ・ 2009年12月 高度実践看護師に関する声明
- ・ **2010年4月 「特定専門看護師」育成43単位(案)**

社会の健康課題

- 生活習慣が関与する健康問題の増加
- 高齢化による健康問題の増加
- 治らない病気→治癒ではなくマネジメントという概念
- 遺伝子が関与する病態と医療のひろがり→個人情報に対する倫理的問題
- 医療サービスにおけるリスクへの対応
- キュアだけでは解決しないからだところの問題

健康課題への看護学の挑戦

- ケアリングを基盤とする介入研究
 - →セルフケア能力の開発と維持
 - →具体的な健康維持改善パッケージの開発など
- 治らない病気
 - →治癒ではなくマネジメントという概念の適用
- 遺伝子等個人情報と倫理的判断
- リスクマネジメントとチーム医療への戦略

日本学会議看護学分科会が考える 高度実践看護師

(APN: Advanced Practice Nurse) の定義

- 看護の基礎教育を基盤として、一定の看護実践を積み、大学院の教育課程において所定の教育トレーニングを受け卓越した看護実践を提供する看護師で、医師との適切な協力関係のもと、臨床判断を行い医療を提供する。看護ケアと医学的ケアを融合して提供することで効果的な健康の維持回復をねらう。

APNのCompetency

- 地域、家族、環境調整を包括的に企画する
- 意志決定に関する総合的判断と臨床的分析.
- 健康上の問題を診断してマネージする
- 処方や診断的介入、機器、治療、医療の提供のために指示を行う
- 健康保護、健康増進と病気の予防のために、個人、家族、コミュニティのための治療や教育を調整する
- 継続的なケアを保証するために他の医療従事者に患者の照会をしたり、照会を受けたりする
- 適切な時期に、他の医療従事者のコンサルタントとしての役目を果たす
- ヘルスケア促進者から退院する患者を受け入れる
- マネージメントしている患者の取り扱い件数を把握する
- コミュニティの全体的な健康を改善するために、協力的に公衆衛生、医療専門家と他の適切なコミュニティリーダーや政府機関と協同する
- 根拠に基づいた看護を促進するための研究を継続して行う
- 専門家として、倫理的配慮があり、均等で、質が高い医療サービスを保証するために、看護実践の評価を行う
- 高度な実践能力の追行や改善にむけての調査を行う

日本版高度実践看護師教育課程案の概要

APNの場合、赤字の部分追加の必要性

実習

卓越した高度看護実践実習に加えて、
医療介入、医師との
shared responsibilityの取り方(検討)

実践・研究の循環

専攻分野専門科目
専攻分野共通科目

専門領域に特化した病態学、専門領域に必要な看護理論
専門性の高い看護援助論に加えて
専門領域に特化したヘルスアセスメントと診断学
専門領域に特化した検査、薬剤と処方(検討)

高度実践看護師
共通教育科目

看護理論、看護研究、看護管理、
看護倫理、看護政策、看護教育
コンサルテーション論、に加えて
基盤となるヘルスアセスメント、健康診査の知識
医療的介入(治療・ケア)の基礎知識(検討)

健康・生活価値の探求

- 次世代教育—いのちの教育への寄与
- 人々の健康・生活の質の向上

それを実現するため

- 高度実践看護師の育成
- エビデンスに基づく看護実践の蓄積と提供
- 健康政策への貢献